

# 民主的パフォーマンスによる民主的な主体の生成 Generating democratic subjects by citizenship performances

川村 拓<sup>†</sup>, 美馬 のゆり<sup>†</sup>  
Hiro Kawamura, Noyuri Mima

<sup>†</sup> 公立はこだて未来大学  
Future University Hakodate  
g2123018@fun.ac.jp

## 概要

日本でのシティズンシップ教育の問題は、権力の問題、個人主義的傾向をはらんでいることである。この問題を解決するために、市民的パフォーマンスと呼ばれる、コミュニティや個人など、いくつかの異なるレベルで見られる、民主的な態度、活動、即興について、社会的、文化的、政治的観点から分析する。これらのことを踏まえ、パフォーマンス心理学における学習によって再解釈された民主主義の学習が、民主的な主体の生成にどのような影響を与えるかを検討する。

キーワード: 民主的な主体, パフォーマンス心理学, 民主主義の学習

## 1. シティズンシップ教育の問題

2015年6月の改正公職選挙法成立に伴う「18歳選挙権」の実施や、成人年齢の18歳への引き下げの改革、高等教育で新教科「公共」の導入が目指されるのに伴い、シティズンシップ教育や主権者教育、民主主義教育が注目され、教育と政治の関係を問い直す動きが進んでいる[1]。一方、日本におけるシティズンシップ教育の問題は、権力の問題、個人主義的傾向をはらんでいることであると考えられる。

権力の問題とは、シティズンシップ教育および主権者教育が、権力や支配関係の交渉から切り離すことができないことを指す。竹内ら[2]は、ある共同体内で共有される知識者像が学習者の社会的アイデンティティに大きな影響を与えるとして、学習が権力や支配関係の交渉から切り離すことができないとし、学習が持つ権力の側面を考慮した上で、社会環境をデザインする必要性を述べている。

シティズンシップ教育における権力の問題は、達成目標や、必要とされる能力を挙げている点から読み取ることができる。平成30年に改定された学習指導要領公民編[3]の中で、各教科において達成目標が示され、学習者が目指すべき像について言及している。また、経産省はシティズンシップ教育宣言[4]の中で、シティズンシップを発揮するための能力を挙げている。これらの例からわかるのは、達成すべ

き事項が定められ、それに従いシティズンシップ教育を遂行することが求められているということである。よって、行政機関や政府の決定により、学習者や教師はシティズンシップ教育に取り組むことが前提とされているのである。このことが示す問題は、規定された目標の達成によってシティズンシップが獲得された際に、権力がシティズンシップの涵養に介入することに関する倫理的、政治的問題である。

シティズンシップ教育における個人主義的傾向とは、シティズンシップを個人の知識・スキル・性向によって解釈しようとする傾向のことである。ビースタ[5]は、シティズンシップ教育における個人主義的傾向が、既存の社会的・政治的秩序の再生産に焦点化することで、民主主義の充実、変換が困難になるとして、シティズンシップの学習の社会化の構想を批判的に捉えている。シティズンシップの学習の社会化の構想とは、既存の社会的・政治的秩序の一部となるために必要な学習に焦点を当てることで、民主主義の危機への応答が、市民の動機と関心の欠如によって起こるものだと解釈することである。

ビースタ[5]は民主主義が充実の可能性および異なる民主主義の可能性を持っているものとして理解されなければならないとしている。このことが示唆するのは、現行の民主主義社会における、シティズンシップの学習のあり方が適切であるかということ、そして民主主義への理解に批判的な目を向ける必要があるということである。日本における個人主義的傾向は、権力の問題と同じく、達成目標や、必要とされる能力を挙げている点から読み取ることができる。しかし、学習者が目標を達成し、能力を身につけることは、民主主義のプロセスへ関与し、異なる民主主義や変換の可能性について模索することを可能にするのだろうか。

## 2. 民主的な主体

このような問題へのアプローチとして、ビースタ[5]

はシティズンシップの学習の主体化の構想を挙げる。

シティズンシップの学習の主体化の構想とは、民主的な主体として、新しい政治的なアイデンティティと主体性が生じるプロセスへ参加することによる学習として説明される。この構想において重要な点は、民主主義を明確に定義されたものとして、および明確に定義できる「秩序」として理解することはできないという前提が存在することである。異なる民主主義や民主主義の変換の可能性を模索するプロセスの中で、学習者はあらかじめ規定された目標や市民像へ向かうのではなく、民主的な主体として振る舞うのである。よって民主的な主体は、単純に教えられ、学ばれうるあらかじめ規定されたアイデンティティとして理解されるべきものではなく、民主的なプロセスと実践への参加を通して、新しく異なる仕方では度々なく現れるものとして理解される。

### 3. 民主的パフォーマンスによる民主的主体の生成

シティズンシップの学習の主体化の構想は、シティズンシップ教育がはらむ問題について、民主的な実践への関与による学習という観点から解決策を考えることを可能とする。しかし、民主主義のプロセスへ参加することがどういうことなのかを説明する学習研究の枠組みは検討されていない。ここで懸念されるのは、民主主義のプロセスが日常生活と密接な関係を持っているがために、コミュニティや個人など、いくつかの異なるレベルで見られる、民主的な態度、活動、即興について、社会的、文化的、政治的観点などの広範な範囲から分析する必要があるということである。

そこで、パフォーマンス心理学が学習研究の枠組みとして最適であると考え。パフォーマンス心理学とは、状況論から発達した、「なること (becoming)」を理論とする、心理学研究の視座である[6]。パフォーマンス心理学はヴィゴツキーのZPDを再定義する点で重要である。すなわち、発達を「自分でない人物をパフォーマンスすることで自分が何者かであるかを創造する活動」[7]であると再定義する。

民主主義のプロセスにおける学習をパフォーマンス心理学の枠組みから解釈することは、民主的パフォーマンスという考え方を構想する。民主的な主体は、民主的なプロセスと実践を通して、新しく異なる仕方では度々なく現れるものである。つまり、民主的な主体は既存の秩序の

中では特定することのできない振る舞いとして、民主的なプロセスの中に立ち現れる。そこでは、民主的な主体としての発達を「自分でない人物をパフォーマンスすることで自分が何者かであるかを創造する活動」の中に見ることができる。そして、民主的な主体に「なること」を個人集団間に存在する多様なレベルで見られる態度、活動、即興を分析することで、民主主義のプロセスにおける学習を記述することを可能とする。ここで見られる個人集団間に存在する多様なレベルでの態度、活動、即興を民主的パフォーマンスと呼ぶ。

民主的パフォーマンスは民主的な主体をパフォーマンスする存在として認識する。このことは、民主主義のプロセスにおける振る舞いがどのようなものかを明らかにする手掛かりとなるだけでなく、今後の民主主義社会の発展に、学習という観点から寄与することが期待できる。

### 4. 結論

シティズンシップ教育における問題として、権力の問題、個人主義的傾向を取り上げ、シティズンシップの学習の主体化の構想およびパフォーマンス心理学の観点から解決を試みることの意義について述べた。今後の展望として、民主主義のプロセスに値する実践を民主的パフォーマンスの観点から分析し、民主的な主体の生成過程について具体的な事例を挙げ、民主主義のプロセスをあらゆる環境で実践可能する要件を挙げる。

### 文献

- [1] 文部科学省, (2021) 今後の主権者教育に向けて(最終報告), 主権者教育推進会議.
- [2] 身和竹内, 広昭石黒, (2023 年) 社会環境デザインとしての学習: 学習研究はなぜ公正と権力を問わなければならないのか?, 認知科学, Vol. 30, No. 2, 124-136.
- [3] 文部科学省, (2018) 学習指導要領解説 公民編.
- [4] 経済産業省経済産業政策局, (2006) シティズンシップ教育宣言, 経済産業省経済産業政策局経済社会政策室.
- [5] Gert J. J. Biesta, (2011) *Learning Democracy in School and Society: Education, Lifelong Learning, and the Politics of Citizenship*, Brill Academic Pu. (ガート・ビースタ. 上野正道, 中村(新井)清二, 藤井佳世 (訳) (2014). 民主主義を学習する 教育・生涯学習・シティズンシップ. 勁草書房.)
- [6] 香川秀太, 有元典文, 茂呂雄二, (2019) 『パフォーマンス心理学 — 共生と発達のアート—』, 新曜社.
- [7] Holzman, L, (2009) *Vygotsky at work and play*, Routledge. (茂呂雄二 (訳) (2014). 遊ぶヴィゴツキー —— 生成の心理学へ 新曜社)